

平成23年度 広域合同演習の開催について

～緊急輸送道路の啓開・復旧オペレーションに 焦点を置いた初めての演習を行います～

東日本大震災では国、県、市などの道路管理者と自衛隊や地元の建設業者等が連携した道路啓開活動「くしの歯作戦」が交通ネットワークの早期復旧を支え、その後の迅速かつ確かな応急対応に繋がりました。四国地方においても同様に巨大地震に備えるため緊急輸送道路の早期啓開・復旧体制について関係機関と検討を行っているところです。

今回の演習は、東南海・南海地震等の大規模災害時における「緊急輸送道路の啓開・復旧オペレーション（四国版くしの歯作戦）」に焦点を置いた初めての演習です。各関係機関が連携していく上で「どのような情報を必要とするのか」、「何を緊急に行わなければならないか」、「救助、復旧のためのルート確保をするために何が必要か」といったことを災害図上演習（DIG形式）を通じて互いに議論し、課題を抽出します。

◎日 時：平成24年3月6日（火）13：30～15：15

◎場 所：国土交通省四国地方整備局13F 災害対策室
（高松市サンポート3番33号高松サンポート合同庁舎13階）

◎参加機関：四国地方整備局、陸上自衛隊 第14旅団、
徳島県、香川県、愛媛県、高知県、
西日本高速道路（株）四国支社、本州四国連絡高速道路（株）、
（社）徳島県建設業協会、（社）香川県建設業協会、
（社）愛媛県建設業協会、（社）高知県建設業協会

※本演習は、迅速かつ適切な災害対応を図るために必要な被災状況の早期把握と情報共有化を目的に四国東南海・南海地震対策連絡調整会議（事務局：国土交通省四国地方整備局）の主催により平成19年度から実施しており、今回で5回目となります。

この施策は、四国広域地方計画「No6 防災向上プロジェクト」の取り組みに該当します。

この施策は、四国地震防災基本戦略の取り組みに該当します。

平成24年3月2日

問い合わせ先

国土交通省 四国地方整備局 企画部

防災対策官 松本 秀應（内線3125）

防災課長 上林 正幸（内線3411）

TEL（087）851-8061（代表）

（087）811-8310（ダイヤルイン）

■DIGとは

- ・DIG (Disaster【災害】 Imagination【想像力】 Game【ゲーム】)とは、簡易型の災害図上演習の一種であり、災害のある場面を想定し、参加者全員で議論しながら課題発見や災害対応を検討するためのトレーニングです。
- ・DIGを実施することにより、各関係機関との連携に向けての課題と対策について共有化を図り、今後の防災対策に繋げていくもの。



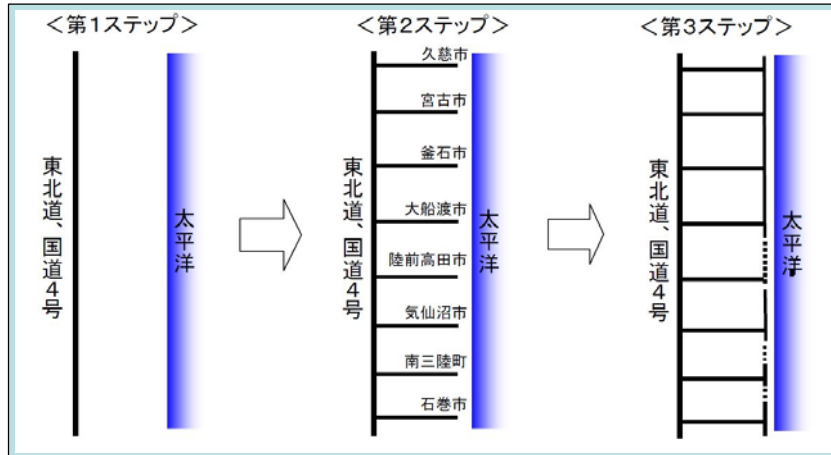
■演習スケジュール

ステージ	時間	演習の進め方の説明
開会	13:30	開会挨拶
	13:33	演習被害想定、演習の進め方の説明
フェーズ1 (発災後～1日)	13:40 15:15	・初動の動き ・活動するために必要情報についての意見交換
フェーズ2 (1日～3日)		・活動するために必要なこと ・道路啓開の優先順位づけ等についての意見交換
フェーズ3 (1日～3日)		・支援できること、支援してほしいこと ・道路啓開の実施について」の意見交換
閉会	15:15	閉会

【参考資料①】

「くしの歯作戦」による道路啓開の事例（東北地方整備局）

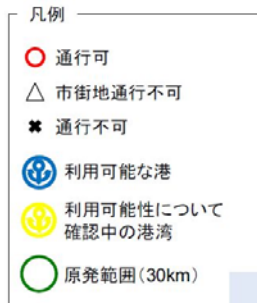
「くしの歯作戦」による交通ネットワークの早期復旧により、その後の迅速な応急対応に繋がった。



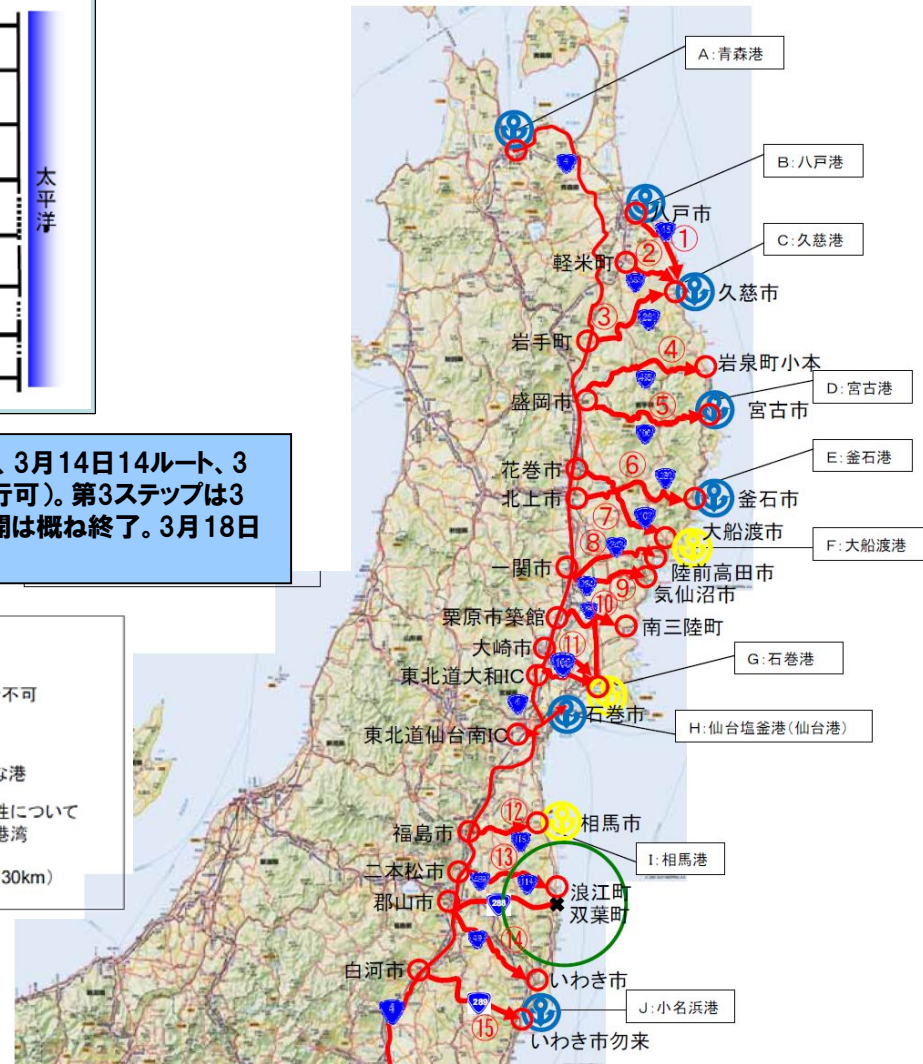
第1ステップは3月12日に確保。第2ステップは3月12日に11ルート、3月14日14ルート、3月15日に全15ルートの東西ルートを確認（※16日から一般車両通行可）。第3ステップは3月18日までに97%（国道45号、6号）が通行可能となる等、道路啓開は概ね終了。3月18日より応急復旧の段階に移行。

早期啓開・復旧を実現させたもの

- ① 骨格となる高規格な道路の存在
- ② 地元の建設業者の支援による早期啓開
- ③ 内陸の事務所と業者の応援による復旧活動
- ④ 国総研・土木研究所等の技術的支援（橋梁の調査など）



(平成23年3月16日(水)13時現在)



【参考資料②】

「くしの歯作戦」による道路啓開の事例（東北地方整備局）



国道45号 岩手県 田老地区

津波により家屋等の瓦礫が国道45号を塞いだため、啓開作業により3月19日に2車線の交通路を確保



国道45号全体では、3月18日までに97%が通行可能となるなど、道路啓開は概ね終了。3月19日より応急復旧の段階に移行。